

## 一年間の健康を願って

### 三里木保育園「鏡開き」

三里木保育園が1月10日、食べることで健康になるという食育を兼ねて同保育園で鏡開きをしました。

たんぼ組の東梨恵子先生が「神様にお供えするお餅を開いて、一年間元気に過ごせるよう願って食べることを鏡開きといいます」と鏡開きの由来を話しました。園児たちは興味津々に話を聞き、開いた餅を園庭で焼いて「あちっあちっ」と言いながらおいしそうに食べていました。その後、園児たちは健康を願って焼いた餅や丸めた白玉を入れたぜんざいを食べました。



◀白玉を食べやすい大きさに丸める園児



▶ぷくっと焼いた餅を口にほおぼる園児

## 緑茶でインフルエンザを予防

### お茶の葉寄贈

J A 菊池茶部会菊陽支部が12月2日、風邪やインフルエンザなどの予防に役立ててもらいたいと、1袋1kgのお茶の葉50袋を町内の保育園と小中学校に寄贈しました。

緑茶に含まれる「カテキン」という成分には、ウイルスの増殖を抑える抗ウイルス作用と毒素を解毒する抗毒素作用があります。また、虫歯の予防にも有効です。J A 菊池茶部会菊陽支部は「緑茶で風邪をひかないように気を付けてもらいたいです」と話しました。



▲緑茶でうがいをするもみじ保育園の園児

## おいしい菊陽産の野菜がたっぷり！

### 光の森キャロット保育園「地産地消料理講習会」

菊陽町生活研究グループ員の地産地消料理講習会が12月14日、西部町民センターで行われました。

対象者は光の森キャロット保育園の親子。参加した親子は地産地消の話に耳を傾け、楽しみながら料理を作っていました。料理は、菊陽産の野菜を使ったリング入りサツマイモのポタージュや炊き込みみじんピラフのオムライス、ぷるぷる寒天プリンで、とてもおいしいと好評でした。保護者は「野菜を使って簡単にできるので、家でも作ってみたい」と話しました。



▲楽しんで「ぷるぷる寒天プリン」を作る園児

## みんなで支え合う地域に

### 認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座が10月31日に武蔵ヶ丘中学校、12月13日に菊陽中学校で行われました。

町は、認知症の人やその家族への理解を深め、みんなで支え合う地域をつくるために認知症サポーター養成講座に力を入れて取り組んでいます。生徒は講義や先生によるクイズ形式のロールプレイで認知症への理解を深め、対応方法を学びました。講座後、認知症サポーターの証であるオレンジリングが配布され、受講した412人が認知症サポーターになりました。



▲先生たちのロールプレイ

※ロールプレイ…実際の場面を想定し、さまざまな役を演じて疑似体験をし、ある事柄が起こった時に適切に対応できるようにする学習方法の一つ。

▲講座を真剣に聞く生徒たち

## 菊陽中学校サッカー部が優勝！

### 菊池・阿蘇地区中学生新人サッカー大会

菊池・阿蘇地区中学生新人サッカー大会が12月21日～23日、菊池郡内のグラウンドで行われました。

阿蘇・菊池郡内の中学校11校が今までの練習の成果を発揮し全力でプレー。懸命にボールを追う姿に保護者が熱い声援を送る中、生徒たちはチーム一丸となって頑張りました。

接戦の末、菊陽中学校が優勝し、武蔵ヶ丘中学校が準優勝しました。菊陽中学校と武蔵ヶ丘中学校は1月25日の県大会に出場しました。



▲決勝戦で激しく競り合う菊陽中と武蔵ヶ丘中のサッカー部員

## みそを食べて地下水を守ろう

### 山内本店「水・土壌環境保全活動功労者」受賞

環境省の平成25年度水・土壌環境保全活動功労者選ばれたみそ・しょうゆ製造の山内本店(原水)が12月25日、町長を表敬訪問しました。山内本店は地下水かん養効果の高い白川中流域で取れた『水の恵み』ブランドのコメや菊陽・大津産の大麦、大豆が原材料の『匠の味噌』を個数・期間限定で発売。

後藤町長は「伝統を大事にしながら新しい挑戦をしている。菊陽産の材料を使ったみそを食べて、地下水保全につながるのうれしい」と喜びを語りました。



▲「匠の味噌」を持つ山内卓社長(中央左)と後藤町長

## 元気いっぱいプレー

### 菊陽町子ども会ドッジビー大会

菊陽町子ども会ドッジビー大会が12月22日、菊陽町民体育館で開催されました。

ドッジビーとは、柔らかいフリスビーのようなディスクを使った、ドッジボール形式のニュースポーツです。

菊陽町子ども会では初めてドッジビー大会を開催。町内の各子ども会から7チームが参加し、Aパート(低学年)とBパート(全学年)に分かれ熱戦を繰り広げました。

どのチームも一丸となって元気よくプレーし、訪れた多くの観客からも盛んな声援が送られていました。

大会の結果は、次のとおりです。

【Aパート】 優勝 ふなっしーず(上津久礼)  
準優勝 東ヶ丘ゲンキーズA

【Bパート】 優勝 東ヶ丘ゲンキーズB  
準優勝 Fighters(上津久礼)  
第3位 634-②B(武2町)



▲Aパートで優勝した「ふなっしーず(上津久礼)」



▲Bパートで優勝した「東ヶ丘ゲンキーズB」

## 虫歯の無い健康な歯を

### 保育園・幼稚園で「フッ化物洗口」開始

1月から町内の保育園・幼稚園13園で、年長児を対象に「フッ化物洗口」を開始しました。このとり保育園では1月7日、第1回目の洗口を行いました。

フッ化物洗口とは、虫歯予防を目的に、フッ化ナトリウムを含む溶液で1分間ブクブクうがいを行うものです。子どもたちは上手にうがいをし、「たくさん泡が立ったよ!」と笑顔で話していました。

うがいや歯磨きをして、虫歯の無い健康な歯をいつでも大切にしていきたいと思います。



▲うがいをするこのとり保育園の年長児

## 金融講話と人形劇鑑賞

### 高齢者大学・地域婦人会合同主催事業

高齢者大学・地域婦人会合同の講演会と人形劇が1月22日、図書館ホールで行われ、150人が参加しました。これは相互の連携と協調を図り、心豊かな人づくりを目的に開催され、今回が2回目になります。

九州財務局多重債務相談員の江藤輝子さんが「多重債務の相談事例」などを分かりやすく講話。また、町図書館ボランティアぶっくるが人形劇「はなさかじい」を演じ、お話の喜びや楽しさを伝えました。優貴保育園の園児も一緒に人形劇を楽しみました。



▲講演をする江藤輝子さん ▲園児に人気の「はなさかじい」

## みんなで大切に読みます

### 武蔵ヶ丘小学校で図書贈呈式

熊本市明るい社会づくり協議会(清田春雄会長)が1月8日、武蔵ヶ丘小学校(岩下育男校長)に図書を贈呈しました。これは、青少年の健全な育成を目的に毎年県内の小中学校で行われている活動です。

清田会長は「人は周りの人に支えられ助け合って生きています。感謝の気持ちを忘れず、本をたくさん読んで賢い人になってください」と話しました。6年生の岡本咲さんが代表して図書目録を受け取り、「学習に役立てていきます」と元気にあいさつしました。



▲清田会長から目録を受け取り、あいさつする岡本咲さん

## 外でも体はぽっかぽか!

### このとり保育園「七草粥クッキング」

このとり保育園の年長24人が1月7日、園庭で七草粥を食べました。七草粥とは春の七草(セリ、ナズナ、ゴキョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ)を入れて炊いたもので、その一年の無病息災を祈って食べる粥です。園児が切ったにんじんやダイコン、春の七草などを入れ、用務員の塚本先生が火の番をして作りました。園児たちは「おいしい」と何度もおかわりをして食べていました。園児は「野菜を切ったのが楽しかった」と笑顔で話しました。



▲園庭で夢中になって七草粥を食べる園児たち

## 後世に伝えたい伝統と自然

### 鉄砲小路「くまもと歴町50選」に選ばれる

鉄砲小路の生垣の町並みが「くまもと歴町50選」に選ばれ、12月3日、銘板と石碑を鉄砲小路公民館前に設置しました。

県が昨年4月、後世に残すことが望ましい町並みを「くまもと歴町50選」に選定。43団体60地区が、県内に残る伝統的建造物を中心に構成された古い町屋などが連なる町並みや、伝統的建造物を中心とした周囲の景観と調和した歴史的、伝統的な町並みとして選ばれました。これは、県民の皆さんに町並みや建造物の価値を知ってもらい、その認識が広がり、地域住民と行政が一体になって町並みを守っていくことを目的としています。

鉄砲小路の生垣は、県道311号沿いに約4kmにわたりツツジなどが植え込まれていて、これらは鉄砲小路区民の皆さんがきれいに手入れをしています。皆さんは「この伝統を継続していくのはなかなか難しい。自分たちの誇りとして、歴史をひも解き、勉強し、それを子どもたちに引き継いでいくことが大切だと思います」と真剣な眼差しで話しました。



▲景観を守っている鉄砲小路区民の皆さんと県の担当者



▲丁寧に整えられた鉄砲小路の生垣

## 火の用心!

### 年末警戒

消防団や自衛消防団、自主防災組織による年末警戒が12月27日~29日の3日間、町内各地で行われました。火の元、火の後始末を十分気を付けてもらうため、消防団員が積載車で各地区を回りながら「火の用心」を呼び掛け注意喚起を行いました。各地区の自衛消防団や自主防災組織も拍子木を打ち鳴らしながら「火の用心」を呼び掛け、自分たちの地域を見回りました。

年末は菊陽町から1件の火災が起きることもなく、新しい年を迎えることができました。



▲年末警戒巡視出発式で号令をかける本部機動隊長

## 1日のスタートはあいさつから

### 青少年健全育成町民会議によるあいさつ運動

3学期がスタートし菊陽町青少年健全育成町民会議による「早朝のあいさつ運動」が1月9日に菊陽中学校、10日に武蔵ヶ丘中学校で行われました。小中学生は、交通量の多い通学路を元気に登校しています。

「おはようございます」「いってらっしゃい」と会員が中学生とあいさつを交わし、気持ちの良い朝のスタートを切ることができました。

家庭、学校、地域といろんなところで、爽やかなあいさつをしていきたいと思います。



▲元気に登校する菊陽中学校の生徒



あいさつを交わす武蔵ヶ丘中学校の生徒